

謹賀新年



小須戸町長 佐藤 太加志

明けましておめでとーござい
ます。

新年を迎えるにあたり、町民
の皆様にご挨拶を申し上げます。

願ひますと、一昨年は低温・
冷夏の天災があり、昨年は逆に
少雨・炎天続きの異常気象に苦
しめられました。

今年こそは正常な天の恵みを
賜るよう祈る気持ちであります。

また、政治・経済に目を転じて
みますと、国政に於いては政局の
変動がうち続き安定感を欠き、
私達の地方自治体にも少なから
ず影響を及ぼしておりますし、
さらには選挙区区割法案の改定
により、選挙の制度も変わって
まいりましたので、多少の途惑
いも感じておりますが、これに
より、政治に対する関心の高揚

につながってくれば幸いと願
っております。

経済面については、相変わらず
景気の好転が進まず、未だに先
ゆき不透明の感が拭えず、歯が
ゆい思いであります。一刻も
早い回復を願うと共に、各企業
皆様の一層のご努力をお願い申
上げる次第であります。

さて町政に関連して申し上げ
てみますと、昨年十一月二十八
日に国道四〇三号バイパスの小
須戸―新津間が開通いたしました
た、これにより当町の産業・経
済・文化等の向上に大きな影響
を及ぼすと共に、これからの地
域の発展に寄与していただけるもの
と期待されるところであります。
尚、このバイパスの小須戸―田
上間につきましては、現在早期
完成に向けて努力しているとこ

ろであります。

また当町の主要道路である、
白根・安田線の東(矢代田跨線
橋)と、西(小須戸橋)の出入
口が狭い為、大変な交通渋滞
をきたしており、交通安全の面
からもその対応が急がれるところ
であります。幸いにして、昨
年の県道白根・安田線道路整備
促進期成同盟会(白根市・小須
戸町・新津市・五泉市で編成)
に於いて、四〇三号バイパスへ
兎谷からの道路と新小須戸大橋
(仮称)の架設が重点事業とし
て決定をいただきましたので、
その実現に向けて努力している
ところであります。

さらには、矢代田駅西側の大
規模宅地開発の成功により、第
二次開発の気運が高まっている
ところであり、地域の
皆さんからのご理解・ご協力を
頂きながら積極的に取り組んで
まいり所存であります。

国・県の助成事業としては、
デイサービスセンター及びこす
ど温泉健康センターが本年四月
にオープン運びとなりますので
で、これにより各方面に於いて
新たな効果が発揮されるものと

期待しております。

また平成八年完成予定の「せ
せらぎと散策の森」砂防事業も
着々と進捗しておりますので、
散歩がてらにご覧になって頂き
たいと思っております。

次に、町の南北縦断道路(十
七号道路)についてはウデコキ
附帯農道から花とみどりのシン
ボルゾーンに向かう箇所がこの
三月中に舗装も完了し一部供用
開始の予定でありますし、附帯
農道から小須戸保育園までの間
は平成八年度に完了して、全線
開通の運びとなります。

また毎年申し上げてまいりま
したが、農村総合整備モデル事
業も計画通り平成七年度で全事
業が完了となりますが、七年度
は既に完了した各事業について
点検を行い整備してまいります。
下水道整備事業につきまして
は、積極的に取り組んでまいり
ましたことにより、その進捗率
は県内で上位になっており、平
成八年には市街化区域内は完了
し、平成七年度から平成十三年
までには市街化調整区域(通称
村部)を特定環境保全公共下水
道事業として完了する予定であ

いと思っておりますので、ご意見・ご
提言をお願い申し上げます。次第で
あります。

私事、平成三年二月に皆様の温
かいご理解とご支援により町長
に就任させていただき、はや四
年になろうとしております。

この間、公正・公平・清潔を
信条として自身に厳しく、町民
皆様の信頼を裏切ることなく、
町勢発展の為に最大の努力をし
てまいりましたつもりですが、
今後も初心を忘れることなく一
層の努力をしてまいりますので
町民皆様の格段のご理解とご協
力をお願い申し上げます。

平成七年度は相も変わらぬ厳
しい財政状況ではありますが、
行務の合理化や経費の節減を計
りながら、これまで通りの健全
財政を維持してまいり所存であ
りますので町民皆様の一層のご
協力を重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが皆々様の
ご健勝とご多幸を心からお祈り
申し上げます。

ります。この下水道事業により
小須戸町の生活環境が整備され、
益々住みよい町になっていくも
のと信じます。尚、この工事完
了地域の皆様からは一日も早く
本管に接続して早期に水洗化し
て頂きたいとの紙面を借りてお
願い申し上げます。

これから取り組む新規事業と
しては、町民多くの皆さんのご
要望が強かった、小須戸橋上流
の運動公園を含めた河川敷を河
川敷公園として拡大・整備をす
るべく、国の補助事業として採
択頂くよう努力しているところ
であります。

町単独事業としては、きめ細
かな計画に基づいて行っている
ところであり、特に申し上げて
おきたい新規事業といた
しまして、永年地域の皆さんか
ら強い要望のありました水道の
浄水場に近い水田の坂道の改良
がようやく事業に着手できる見
込みが立ちましたので、本年、
平成七年度に完成するよう努め
てまいります。

以上、ハード的な事業につい
て申し上げますが、ソフト面
では、昨年は幼稚園の二年保育

を実施いたしました。今年はい
要望の高まってまいりました保
育園の延長保育について、アン
ケート調査等の状況を参考にし
て、実施の方向で検討してまい
りたいと思っております。また寝たき
りのご老人を介護して下さる
ご家族の方に、感謝と激励を含
めた介護手当を差し上げてま
いりましたが、この金額につい
ても増額を検討してまいりたい
と思っております。

このように例記していきま
すと、この紙面では紹介出来かね
ますが、更にきめ細やかな福祉
を充実してまいります。尚、デ
ィサービスセンターを中心とし
た、福祉ゾーンの計画の中にシ
ルバーハウジング(老人用集合
住宅)の建設を行い独り暮らし
のご老人や高齢ご夫婦の為に、
健康保持の指導や予防医療など
を行うと共に、安心で安全な生
活を送って頂くようにしてまい
りたいと思っております。この計画に
つきましても県のご指導・ご協
力を頂きながら進めているところ
であります。

さて課題の農業問題につきま
しては、甚だ困難な面は多々あ